

リサイクル事業

プラントリサイクル事業を拡大し 持続的な成長を実現します。

株式会社アビツ 取締役事業本部長/株式会社SMART 代表取締役社長

佐野 拓也

PROFILE :

航空自衛隊を経て、2004年に株式会社アビツ入社。2013年に金属プラスチックリサイクル事業部部長、2019年に取締役事業本部長および同年設立の株式会社SMART代表取締役社長に就任。



当期の概況／今後の戦略

資源リサイクル事業を展開する株式会社アビツは、廃自動車の取扱台数が減少したことに加え、金属スクラップ相場が好調だった前年度と比べ利幅が縮小したことから、減収減益となりました。一方、プラントリサイクル事業を展開する株式会社SMARTは、大規模な解体工事の受注件数が増加したことから、増収増益となりました。これらの結果、当セグメントは、外部顧客に対する売上高8,982百万円(前年度比24.1%増)、営業利益1,333百万円(前年度比16.7%増)となり、過去最高益を達成しました。

株式会社アビツでは、業績が金属資源の相場に左右されることを課題と捉えています。そこで、収益の安定化を

図るため、新たに廃プラスチックのリサイクル事業についても各社と連携しながら検討を進めています。

株式会社SMARTにおいては、大型案件を受注できる社内体制が構築できるようになりましたが、着工件数は前年度よりも1割ほど減少しています。案件の大小が目ざされがちですが、重視すべきなのは利益率の高さであり、今後はバランスのとれた受注を意識していきます。また、事業成長にともない人材不足が課題となっていました。直近2年は働きやすい環境づくりによって従業員の定着率を向上させてきました。2023年度は売上高50億円を目指していますが、達成は十分可能だと考えています。

SWOT分析

強み Strength	株式会社アビツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 独自のリサイクル技術(特許取得) ● 中京圏最大面積のヤードとビジネス環境に適した立地 ● 幅広い廃材に対応できるプラントの設計技術 	
	株式会社SMART	<ul style="list-style-type: none"> ● 三井住友グループと連携した、コスト低減・情報ソース・リユース販路・提案力 	
弱み Weakness	株式会社アビツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働環境が厳しいことによる人材流出と技術の継承問題 	
	株式会社SMART	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業成長にともなう人員の不足 	
機会 Opportunity	株式会社アビツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造業によるリサイクル事業開始 ● 廃プラスチック再資源化 	共通 ● 脱炭素化推進によるリサイクル事業見直し
	株式会社SMART	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度経済成長期の構築物の老朽化 ● 製造業、エネルギー産業への投資増加 	
脅威 Threat	株式会社アビツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 競争が乱立する市場環境の中で差別化の図りにくさ ● 異業種からの参入やメーカーによる囲い込み 	
	株式会社SMART	<ul style="list-style-type: none"> ● 同様のビジネスモデルの出現 	